



札幌を紹介するパンフレット「札幌四季」

ンティブツアアの誘致に積極的に取り組んでいきます。昨年六月にオープンしたコンベンションセンターでは、これまで約千三百件の会議や展示会が行われ、三十万人の入場者を数えています。また、十六年度には千人から三千人規模の大型コンベンションも数多く開催されています。さらに、中期目標として、六万人規模の日本医学総会の誘致を目指しています。十五年は二件だったインセンティブツアーも着実に誘致に成功しており、十六年には既に八件が予定されています。

もっと魅力を伝えるため

キャンペーン以外にもさまざまな観光事業を展開しています。PR・誘致としては、観光宣伝用ビデオ「歓迎交響曲」の日本語・外国語での作成、観光情報を発信するホームページ「ようこそさっぽろ」の公開などが挙げられます。また、道外都市での観光誘致キャンペーンや、東アジア各国での観光セミナーやプロモーションも行っています。

観光案内板の充実や外国語対応が可能な観光案内所の設置や六カ国語のガイド用パンフレットの配布など、観光客の受け入れ体制も整えています。また、市では観光ボランティアの育成にも力を入れていて、平成十五年度には三百八十人の観光ボランティアが登録、活動を行いました。ほかにも「来札客の満足度調査」を年に二回実施して観光客の生の声に耳を傾け、観光環境の受け入れ体制に関する現状・課題を知る努力もしています。訪れるお客さまに満足してもらおうための環境づくりは、集客を増やすことにもつながります。そのため市民や企業と連携した取り組みが、今後ますます大切になるでしょう。

さっぽろの魅力、こんなふうにアプローチ

観光案内所・観光ボランティア 街の顔となる札幌ガイド



「この近くに〇〇はない?」と、観光客が気軽に立ち寄れる窓口として、JR札幌駅南口などに観光案内所があります。

こうした場では観光ボランティアも活躍しています。観光ボランティアは、大通公園やさっぽろ雪まつり会場の臨時観光案内所のほか、ライラックまつり・菊まつり・雪まつりの各イベントでも活動します。さらには、外国語ボランティアの登録制度などで外国からのお客さまに対応しています。

観光情報webサイト 「ようこそさっぽろ」



観光情報を発信するこのサイトでは、行政情報や商用目的に偏ることのない市民の「おもてなしの心」が伝わる情報提供を目的としています。運営するのは、NPO団体、学会、企業、行政などで構成される「ようこそさっぽろ運営委員会」です。札幌市民の意見・アイデア・参加によって成長するサイトを目指して、民間や行政の区別のない新しい視点の「さっぽろ」から情報を発信しています。

■ホームページアドレス <http://www.welcome.city.sapporo.jp/>